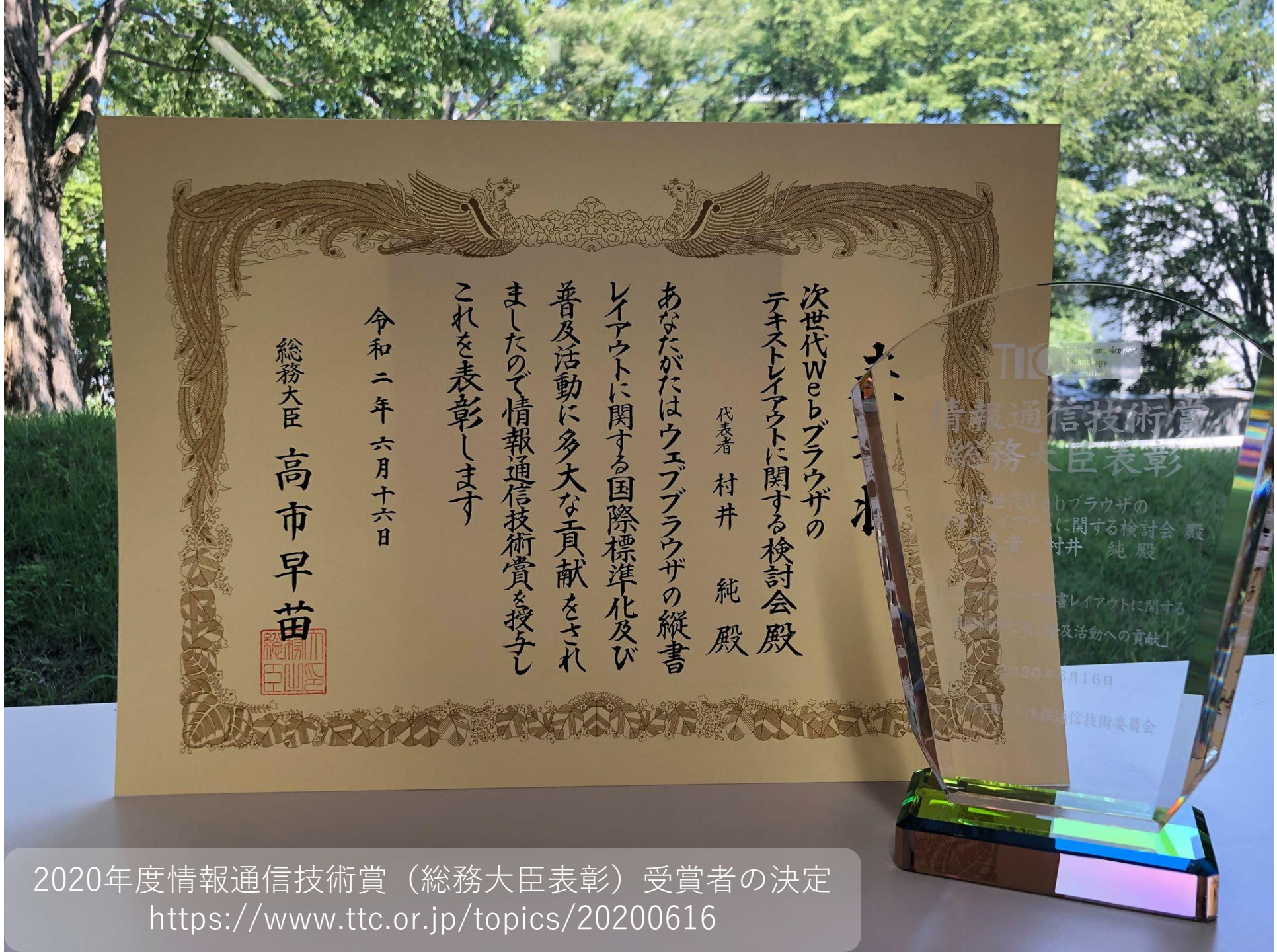
W3C全体概要

岸上順一
Advisory Board (6/30/2020まで)

14:05-14:20 7/6/2020 at TTC online seminar



2020年度情報通信技術賞（総務大臣表彰）受賞者の決定
https://www.ttc.or.jp/topics/20200616

まずはお礼から

次世代Web ブラウザのテキストレイアウトに関する検討会（功績概要）

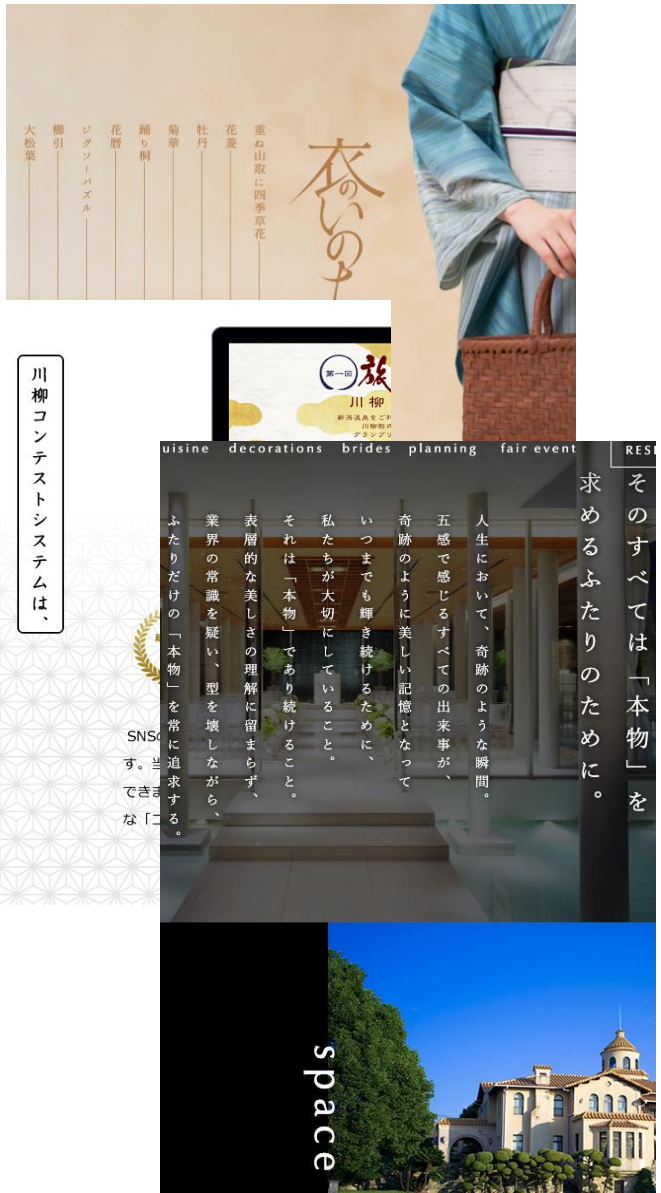
「ウェブブラウザの縦書レイアウトに関する国際標準化及び普及活動への貢献」
団体名　次世代Webブラウザのテキストレイアウトに関する検討会　殿（代表者　村井　純　殿）

英語が標準設定であるウェブブラウザ上で日本語が使用されるようになってからも、日本を含む縦書き文化圏で古来からの文化として根付いている縦書きの文字組は、１９９０年代までは技術的に不可能であった。

本検討会は、自国文化の継承とデザインの多様化を目的として「縦書きWeb」の活動を始動し、Ｗ３Ｃにおいて１５年の歳月をかけて２０１９年末に当ウェブ技術を国際標準勧告化とした。

本技術は、日本語やモンゴル語などで使われるような縦書きの記述、横書きの左から右への記述、横書きの右から左への記述、そして横書きのページに縦書きの領域を挿入する記述など、世界中で利用されている様々な記述方向を実現している。これにより、同一ウェブページ上で横書き及び縦書きの記述を混在させることも可能になり、日本語固有の文化を実現しながら、世界に対してウェブの設計にさらなる自由と高い表現性の提供が可能となった。

本件の勧告化に至るまでには、多数の議論や開発、複数国に渡る数多くの有識者やコミュニティ、ステークホルダー間の困難な調整といった国際連携の活動が要求され、それらを経て勧告化を実現したことは、日本発信の国際標準化活動の一つとして卓越した功績である。



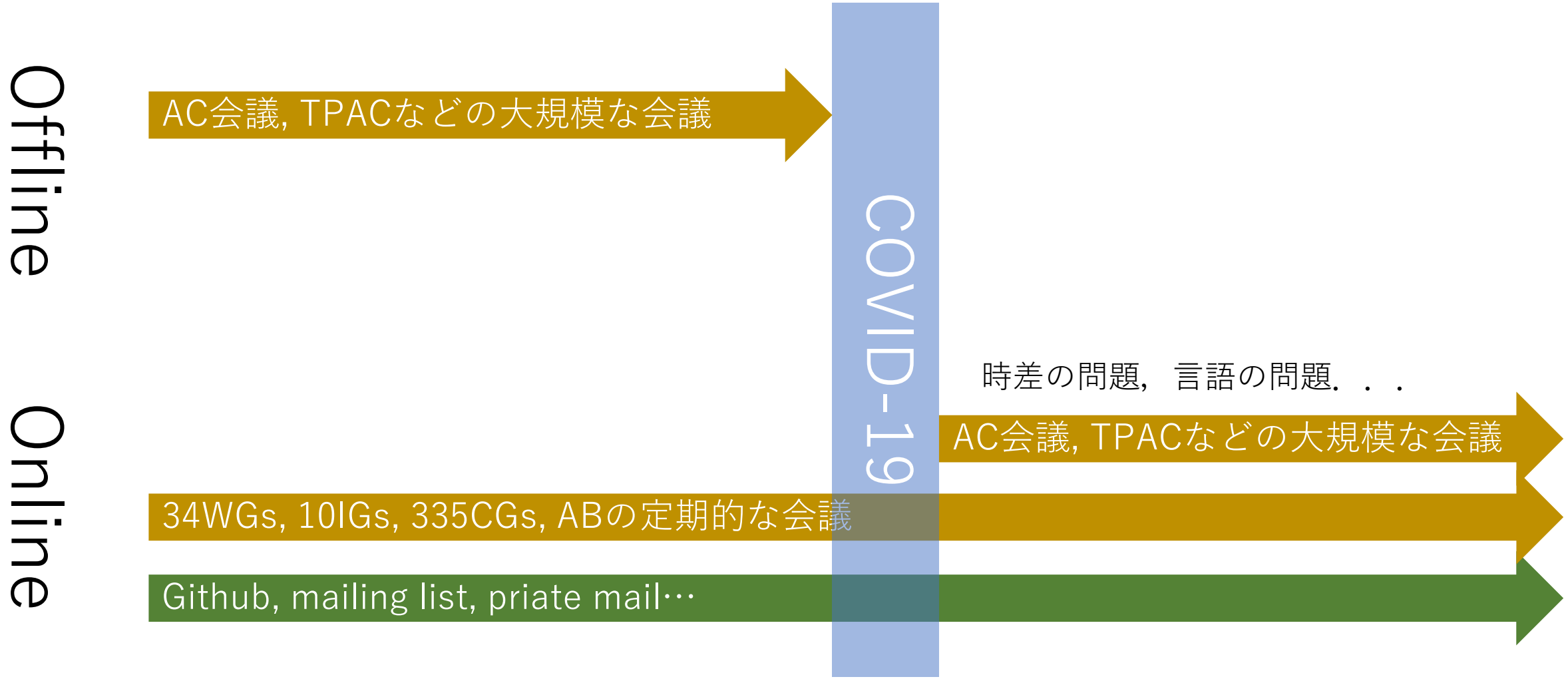
次世代Web ブラウザのテキストレイアウトに関する検討会 （受賞対象者）

No.	所属	名前（敬称略）
1	慶應義塾大学	村井 純
2	グーグル株式会社	石井 宏治
3	BPS株式会社	榊原 寛
4	一般社団法人ビブリオスタイル	村上 真雄
5	慶應義塾大学	中村 修
6	株式会社ジャストシステム	松家 勝弘
7	株式会社フューズネットワーク	池田 実
8	一般社団法人WebDINO Japan	瀧田 佐登子
9	楽天株式会社	山田 朋子
10	凸版印刷株式会社	田原 恭二
11	日本マイクロソフト株式会社	田丸 健三郎
12	日本電信電話株式会社	阿久津 明人
13	株式会ACCESS	石橋 穂隆
14	ソニー株式会社	山西 隆志
15	大日本印刷株式会社	野嶋 哲治
16	株式会社インフォシティ	新谷 健一
17	株式会社ブックウォーカー	高見 真也
18	株式会社講談社	小川 淳
19	BPS株式会社	原山 唱一
20	W3C/慶應	芦村 和幸
21	イースト株式会社	柳 明生
22	イースト株式会社	近藤 健太郎
23	インタネットアカデミー	有滝 貴広
24	インタネットアカデミー	神永 歩
25	ソフトバンク・テクノロジー株式会社	関口 浩之
26	ピクシブ株式会社	宇佐美 健太
27	一般社団法人WebDINO Japan	浅井 智也
28	楽天株式会社	皆藤 慶
29	大日本印刷株式会社	澤野 美智子

Scocirty5.0が目指すべきもの

- ガートナー社の戦略的トップ10技術の大きな変化
  - “Rather than building a technology stack and then exploring the potential applications, organizations must consider the business and human context first.”
  - 技術がどのようなアプリに使えるのか考えるのではなく，ビジネスと人との接点(コンテキスト)を最初に考慮せよ！
- 大きなスコープから様々な標準化が連携あるいは意見交換をしながら進むことのできる枠組みに感謝しております.
- 本日私からはW3Cの動きを3つの軸から簡単にお話しします.

Offline v Online meeting



Horizontal v Vertical Issues

- Decentralized Identifiers (DIDs) v1.0
- Use Cases and Requirements for Decentralized Identifiers
- DID Specification Registries
- Fetch Metadata Request Headers
- Web Authentication: An API for accessing Public Key Credentials - Level 2
- Feature Policy
- Web Authentication:An API for accessing Public Key Credentials Level 1
- Credential Management Level 1
- Content Security Policy Level 3
- Clear Site Data
- Permissions
- Web Cryptography API
- Referrer Policy
- Content Security Policy Level 2
- Secure Contexts

- Content Security Policy: Cookie Controls
- Entry Point Regulation
- Content Security Policy Pinning
- Content Security Policy: Embedded Enforcement
- Mixed Content
- Subresource Integrity
- User Interface Security and the Visibility API
- WebCrypto Key Discovery
- Confinement with Origin Web Labels
- Upgrade Insecure Requests
- Content Security Policy 1.0
- Web Cryptography API Use Cases
- The From-Origin Header

Security

Horizontal v Vertical Issues

- Decentralized Identifiers (DIDs) v1.0
- Use Cases and Requirements for Decentralized Identifiers
- DID Specification Registries
- Self-Review Questionnaire: Security and Privacy
- Mitigating Browser Fingerprinting in Web Specifications

Privacy

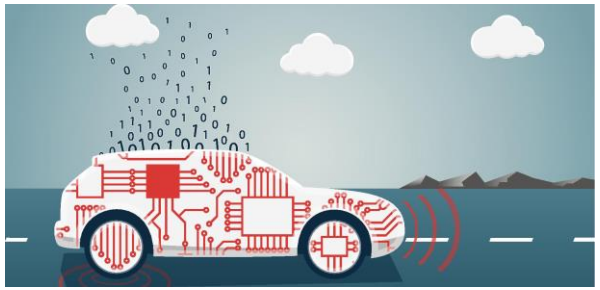
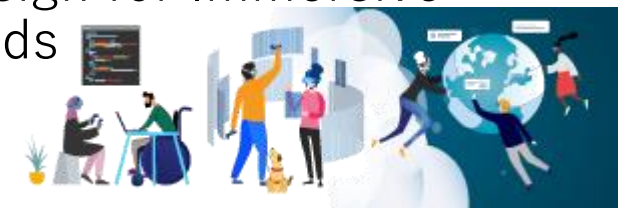
Horizontal v Vertical Issues

i18n

Horizontal v Vertical Issues

Traditional v Emerging topics

- Web Core
  - HTML
  - CSS
  - SVG
  - Audio
  - Web Performance…
- Living Standardの導入
  - Patent Policyの拡張



- 335のCG，数千人の参加者
  - 2020 Workshop
    - W3C/OGC Joint Workshop Series on Maps for the Web
    - W3C Workshop on Web and Machine Learning
  - 2019 Workshop
    - W3C Workshop on Web Games
    - W3C Workshop on Data Models for Transportation
    - Inclusive Design for Immersive Web standards